

ふくしまから はじめよう。

福 島 県

【編集・発行】福島県広報課  
〒960-8670 福島市杉妻町2番 16号  
☎024(521)7014

# ゆめ だより

福 島 県 | 広 報 | 誌

## 6 月号

2012 No.232

年6回(偶数月)

皆さんのもとにお届けします。



特集

# 再生可能エネルギー 推進に向けて





ふくしまからはじめよう。

Future From Fukushima.

ふくしまからはじめよう。ゆめだより

2012  
No.232

6月号

C O N T E N T S

もくじ

ふくしまの宝「山」…………… 2  
 特集：再生可能エネルギー推進に向けて…………… 4  
 震災の記憶…………… 7  
 震災関連相談窓口…………… 7  
 ふくしまの食…………… 8  
 キビタンのわかる県政…………… 9  
 ふくしまの今…………… 10  
 地域ゆめ情報…………… 12  
 県からのお知らせ…………… 14  
 施設インフォメーション…………… 15  
 ゆめクイズ…………… 16

【表紙】

南相馬市立大甕<sup>おおみか</sup>小学校は平成22年度に「花いっぱいコンクール」で県知事賞を受賞しましたが、昨年度は原発事故による避難のため花壇をつくることができませんでした。しかし、それを知った新潟市の小合小学校が花の苗を寄贈。昨年の10月に授業を再開した後、地域やボランティアの皆さん、そして小合小学校の校長先生と一緒にその苗を植え、いま子どもたちが一生懸命育てています。

 募集しています

ゆめだよりでは、県民の皆さんが地元で誇りにしている「宝」を募集しています。「緑」「山」「水（川）」「民芸品、伝統工芸品」「食（伝統食）」「城（城跡）」など、何でも結構です。さまざまな宝の名称・場所などに関して、〒960-8670 県庁広報課・「福島島の宝」係まで情報をお寄せください。



がもうだけ  
蒲生岳（只見町）

只見町観光まちづくり協会 ☎ 0241-82-5250



磐梯山頂からの嶺ヶ峰（猪苗代町）

※嶺ヶ峰には登山道はありません。

猪苗代町商工観光課 ☎ 0242-62-2117





1

1. 熊沢田代（檜枝岐村）  
関檜枝岐村企画観光課 ☎ 0241-75-2503
2. 残雪と安達太良山（二本松市）  
関安達太良連盟事務局(二本松市観光課内) ☎ 0243-55-5122
3. 浄土平からの一切経山（福島市）  
関浄土平ビジターセンター ☎ 024-543-0986
4. 鹿狼山（新地町）  
関新地町観光協会(新地町企画振興課内) ☎ 0244-62-2112
5. 権太倉山（天栄村）  
関白河市大田庁舎 ☎ 0248-46-2111



2

## ふくしまの宝

四季折々の美しさを見せる山々は、福島豊かな魅力を生み出している宝です。



3



4



5

福島は、豊かな山に恵まれた県です。東側には阿武隈山地が、南北にわたって続き、これと平行して奥羽山脈が、吾妻、安達太良、そして那須連峰へと続いています。この大きな2つの山系によって、福島県は浜通り、中通り、会津の3地方に分けられています。山を隔てることによって、気候・風土ばかりでなく人々の生活や文化も大きく異なっています。山には、そんな影響力があるのかもしれない。各地方の違いは、福島大きな魅力、特色ともなっています。

福島山々は、四季折々にその美しさを見せてくれるのが魅力です。山開きを迎え、かれんな植物と触れ合いながら山歩きをしてみたいいかがでしょうか。





原子力に依存しない社会づくりを推進

# 再生可能エネルギー推進に向けて

福島県は、再生可能エネルギー（太陽光、風力、地熱、水力、バイオマスなど）を推進し、原子力に依存しない、安心・安全で持続的に発展可能な社会づくりを進めます。本県が目指す将来像と、そのための取り組みについてお知らせします。

## 福島県再生可能エネルギー推進ビジョンについて

### 基本方針

#### 目指す福島の将来像

##### 環境

「環境への負荷の少ない  
低炭素・循環型社会」への転換



##### 復興

「再生可能エネルギーの飛躍的な推進による新たな社会づくり」の実現など

- ・県民が主役となり、県内で資金が循環し、地域に利益が還元される仕組みを構築するとともに、エネルギーの地産地消を推進すること。
- ・浮体式洋上風力発電の実証研究などの世界に先駆けるプロジェクトを契機とした、関連産業の誘致、県内における新規産業の育成や既存産業の再構築、雇用の創出。

そのための重要なポイント

#### 日本と世界をリードする大きな導入目標の設定

##### 目標

- ・県内の1次エネルギー供給に占める再生可能エネルギーの割合について、2020年は約40%、2030年は約60%を目標値とする。
- ・さらに、**2040年頃**には、県内のエネルギーの需要の**100%以上**に相当する量のエネルギーを再生可能エネルギーで生み出せる県になることを目指す。

##### 導入推進のステップ

##### ステップ1

- ・地域への大量導入
- ・研究開発拠点の整備・実証研究
- ・関連産業の誘致・育成・取引支援など

##### ステップ2

- ・電力を含め、エネルギーを有効利用する社会システム（スマートコミュニティ）の実現
- ・大規模洋上風力発電施設の実現
- ・関連産業の大拠点化

##### ステップ3

- ・再生可能エネルギー産業などの飛躍的發展

#### 再生可能エネルギーとは？

本来は「絶えず資源が補充されて枯渇することのないエネルギー」「利用する以上の速度で自然に発生するエネルギー」という意味。実際には自然エネルギー、新エネルギーなどと似た意味で使用されることが多い。具体的には太陽光、太陽熱、水力、風力、地熱、波力、温度差、バイオマスなどが挙げられる。

#### 世界の先駆けとなる再生可能エネルギーの推進を

本県は、以前から環境に優しい安全で持続可能な再生可能エネルギーの導入を進めてきました。昨年、東日本大震災が発生し、国内のエネルギーを取り巻く情勢は大きく変化しました。そこで、「環境への負荷の少ない低炭素・循環型社会への転換」というこれまでの施策に加え、「再生可能エネルギーの飛躍的な推進による新たな社会づくり」を復興に向けた主要施策の一つに位置付けました。国内外のエネルギー事情が将来的に厳しい中、本県が再生可能エネルギーを積極的に導入し、目標を達成していくことは、世界の先駆けとなり、先進的な復興モデルともなり得るものです。

再生可能エネルギーには、技術面・費用面での課題や、関係者との調整など時間を要する課題もありますが、県民の皆さん、事業者の皆さんなどと連携協力し、着実な取り組みを進めて、大きな目標に近づいていきたいと考えています。





## CO<sub>2</sub>を全く発生させない、バイオマス発電を研究

郡山市のクリーン・エネルギーネットワーク有限責任事業組合では、再生可能エネルギーによる、自然と共生できる環境づくりを目指して、バイオマス発電システムの開発を進めています。

バイオマス燃料は、動植物に由来する燃料の総称ですが、ここで研究しているのは、生ごみを利用した「メタン発酵バイオマス」のシステムづくりです。このシステムは、生ごみからメタンガスを発生させ、そこから濃度の高い水素を取り出して、燃料電池に供給し、発電する仕組みです。

共同で研究を進める日本大学工学部教授の佐藤晴夫さんは「この仕組みを使うと、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）を全く発生させません。また、環境に悪影響を全く与えません」と話します。福島県内の生ごみ量は年間約270万ト（2009年福島県調べ）と試算されていて、これを使って、将来的には年間20～30万世帯分程度の生ごみを処理できるような産業に成長させたい、という夢を持っています。

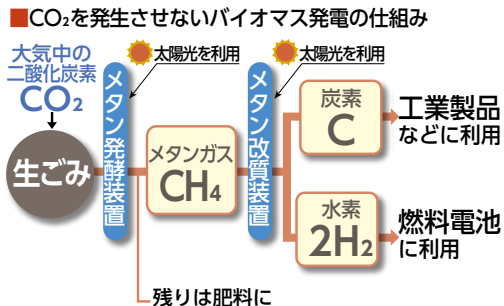
## 江戸の知恵を借りたエネルギー、暮らしづくりを福島から発信

バイオマス発電の推進会議には、行政、農家、産業廃棄物処理業、製造業など多様な分野の人材が名を連ねています。このシステムを循環させるためには、食品や農業などの生ごみ回収から始まり、独自の配管技術を使った発酵設備など、さまざまな業種の協力が必要だからです。なお、メタンガス発酵に使われた生ごみのかすは乾燥させて固形化すると肥料になり、さらにメタンガスから水素を取り出す過程で発生する炭素は工業用の原料にもなりますので、環境に悪影響は全く与えません。ただ同時に、これを実現するためには、生ごみの回収など地域全体の理解と協力が必要です。そのためには第一歩として「まずは小さくてもいい、バイオマス資源の有効利用とエネルギー循環システムを取り入れた、自然と共存する自立したまちづくりをしたい」と佐藤さんは話します。

また代表理事の増尾一さんはこうも語ります。「実はこのシステムは、食べて出してそれを肥料にして育てて、また食べて……という、江戸時代の知恵を復活させただけで、そこにハイテクの要素を加えただけなんです」そして「このサイクルを社会の中に組み込めば、無駄は出ない。そういう社会づくりを福島から進めて発信したい」と、佐藤さんも増尾さんも口をそろえて夢を語ってくれました。



メタン改質装置。メタンから水素を発生させる



メタン発酵装置の前にて。(左から)増尾一さん、佐藤晴夫さん、プラントを組み立てた地元企業の佐々木伸二さん

生ごみが電気に。  
江戸の知恵と先進技術の融合

環境問題を出発点として、バイオマス発電に取り組んでいる  
県内の事例を紹介します。

広大で自然豊かな福島県は、古くから只見川の水力発電が日本の高度成長を支えたほか、現在注目されている太陽光や風力発電などの先駆けの地となる大きな可能性を秘めております。このことから、再生可能エネルギーの飛躍的な推進を本県復興の主要施策に掲げ、30年後までに、県内で必要なエネルギー量は再生可能エネルギーでまかなうという目標を設定しました。

今後は、技術や費用などの課題解決を進め、家庭や事業所への導入を促進することはもとより、産業振興による地域の発展と環境の共生を両立する新しい社会の実現に向け、最先端の研究拠点整備や関連産業の集積などに全力で取り組みます。



福島県知事 佐藤 雄平

再生可能エネルギー  
先駆けの地に

# 震 災 の 記 憶



支援に感謝して贈っている  
手作りの救命浮環をかたどった  
ストラップを持った  
鈴木さん(右)と井上さん



学校に掲げられたP旗は、  
復興の旗印となった

**P旗プロジェクトの始動、  
そして地域の復興へ**

震災時の津波で被災したいわき海星高校は、生徒会が復興を目指す「P旗プロジェクト」を立ち上げました。それは震災後のがれきの片付けの時に、偶然発見された国際信号旗「P旗」がきっかけでした。P旗には、「本船は出航しようとしている。全員帰船されたし」という意味があります。これがまさに復興の旗印となったのです。

生徒たちは高校にP旗を掲げ「学校は決して廃墟ではない。またみんなに戻ってくるよ」という思いを全校生徒に発信したのです。その思いが広く伝わり、生徒会を中心に、教室や実習室の砂のかき出し、教室の窓開け換気、清掃を定期的実施。そし

**全員帰校せよ！  
いわき海星高校の熱い思い**

て生徒たちは昨年の12月に帰校、それ以来通常授業ができています。遠洋漁業(マグロ)の実習も昨年の5月から再開。原発80km圏内から出た船ということでハワイに入港できるか懸念されましたが、無事、漁ができました。これは「小名浜から船が出ても大丈夫だ」という地域の復興の一つの証しとなりました。P旗プロジェクトで学校を再開したことが、町の、学校の存在価値を復活させ、復興のシンボルともなったのです。

**これからは地域に恩返しを  
していきたい**

帰校準備のさなか、学校では実際にま何に困っているのか、何を助けてもらいたいのかを積極的に発信しました。学校のホームページにP旗プロジェクトの活動を紹介。それを見た埼玉県の高校生がバスで支援にかけつける、という出来事もありました。生徒会長の鈴木緋色さんは「最初の頃、清掃していても本当に学校に戻れるのかな、という不安がありました。応援に来てくれて、励みになりました」と振り返ります。「学校がここまで復興したのも、地域の方々にいろいろ手伝ってもらったおかげ。これからは地域の片付け、清掃などもして恩返ししたい」と生徒会スタッフの井上恭兵さんと二人で口をそろえます。P旗プロジェクトは、まだまだ続いていきます。

**募集しています**

県では、東日本大震災の体験、記録、記憶、教訓などを募集しています。  
県歴史資料館(電話 024-534-9220)まで情報をお寄せください。  
いただいた情報については、あらためて日程を調整し、記録などの収集に伺います。

## 主な震災関連相談窓口一覧

原子力災害	放射線に関する 問い合わせ	電話相談窓口 月～金曜日：午前8時30分～午後8時 土 日 祝 日：午前8時30分～午後6時	☎ 0120(988)359 フリーダイヤル
	原子力損害賠償などに 関する問い合わせ	月～金曜日：午前8時30分～午後8時(祝日を除く) ※毎週水・金曜日午後1時～5時は弁護士による電話法律相談を実施	☎ 024(523)1501
生活	県内の応急仮設住宅など への入居及び被災住宅の 改修に関すること	被災者住宅相談窓口専用ダイヤル 月～金曜日：午前9時～午後5時(祝日を除く)	☎ 024(521)7698
	県外に避難した人の相談	県庁避難者支援課 または 避難元(先)の自治体 月～金曜日：午前8時30分～午後5時15分(祝日を除く)	☎ 024(523)4157
健康	県民健康管理調査の実施に 関する問い合わせ	県立医科大学 県民健康管理調査事務局 月～金曜日：午前9時～午後5時(祝日を除く)	☎ 024(549)5130
その他	県政に関する相談窓口	県庁県民広聴室 県政相談コーナー 月～金曜日：午前9時～正午、午後1時～午後4時(祝日を除く) このほか各地方振興局にも県政相談コーナーがあります。	☎ 0120(899)721 フリーダイヤル ☎ 024(521)7017



風評被害にも負けない！

# 平田村の野菜

旬の野菜を使ったメニューが人気



道の駅ひらた キャラクター  
ジュッピーちゃん

平成21年5月にオープンした「道の駅ひらた」。村内産の野菜などを販売する直売コーナーや、手打ちそばと旬の野菜を使ったてんぷらが人気の食堂などがあり、村の特産品を



村の新しい特産品アスパラガスは、道の駅オープンに合わせて5年前から植え付けを行ってきたもので、現在生産者も24戸に増えました。



写真右から

駅長 **高野 哲也**さん アスパラガス生産者 **三本松 典子**さん  
ハウレンソウ生産者 **村田 セツ子**さん 料理長 **関根 昭一**さん

使ったさまざまな商品が販売されています。  
震災では建物に大きな被害がなくすぐに営業を再開できましたが、農作物の風評被害は深刻で生産者の士気も低下。そこで道の駅では農作物の買い上げをして、「負けないぞ！平田井」という名前で、その日に入荷した野菜を使ったワンコインの丼を販売したり、コロッケやカレー、ソフトクリームなどに加工するなど、さまざまな形で支援してきました。「風評被害で野菜を作っても売れない状態が続きましたが、道の駅で買い取ってくれたのは心強かったです」と、生産者の三本松さんと村田さん。

「道の駅と生産者、それにお客さまが三位一体となった活動が良い方向に進んでいると思います。今後は遊休地を活用したそばの栽培も広げていき、新しい産品開発をしていきたいです。今まさに、福島農家の魂を見せつける時ですから」と駅長の高野さんも今後の活動に向けての意気込みを話してくれました。



道の駅ひらた ☎0247(55)3501



季節の野菜を使ったカレー（そばコロッケ付き）

初夏はさやえんどうやスナップエンドウ、ブロッコリーなど、夏にはトマトやなすなどが使われます。





# ふくしまの 今

「もう一度がんばろう」  
心が切り替わった瞬間

国道6号沿い、海が目前に広がる場所で「道の駅よつくら港」を運営してきたのは、まちづくりなどを行ってきた「NPO法人よつくらぶ」です。熱意ある市民の手で、四倉の「観光と交流の拠点づくり」を着実に進めて、いわき市初めての「道の駅」として平成22年7月に完全オープンしたばかりの被災でした。



☎0246(32)8075

いわき市の北部、四倉海水浴場のすぐ近くにある「道の駅よつくら港」。津波で大きな被害を受けましたが、今年の夏、新店舗で再スタートします。

津波に壁をさらわれた建物は、骨組みがむき出しになりました。大量のがれきとともに、船や網があらゆる場所に積み上がっているのを見て、駅長の白土健二さんは、「まさか、こんなことが…」とぼうぜんとするばかりだったといいます。

## 人の輪に支えられて復活！ 新生「道の駅よつくら港」始まります。

道の駅「よつくら港」●白土健二さん（いわき市）



(上)「道の駅よつくら港」は新店舗が完成するまで、大型テントで営業中。

(右) 震災前からずっと変わらぬ顔ぶれでがんばっているスタッフ。



地元産の野菜を手にした駅長の白土さん。新鮮野菜や毎日入荷する「おふかし」や「大福」もおすすめだそうです。



# 絆つないで

新地町社会福祉協議会では、仮設住宅入居者を支援する「サポートセンターまごころ」や、各地から訪れるボランティアを受け入れる「しんち町生活支援ボランティアセンター」の運営を通し、被災者に寄り添った支援を行っています。

新地町社会福祉協議会 [新地町]

☎0244(62)4213



▲手先の運動になると好評の小物入れ作り



▲参加者同士の会話も弾みます

## 高齢者が参加しやすい移動サロン。 語らいや作品づくりで楽しい時間を

サポートセンターまごころは、仮設住宅入居者を対象に相談受付やデイサービス、配食サービスなどを提供し、人々の生活を支えています。高齢者向けサロンの開催も活動のひとつですが、サポートセンターが仮設住宅地から離れていることもあり、参加者がなかなか集まりませんでした。そこで始まったのが8つの地域の仮設住宅地に日替わりで職員が出向く「移動サロン」です。開催場所の仮設集会所は各仮設住宅地内にあるため高齢者も参加しやすく、その内容も茶話会、小物入れ作りなど多様なものになっています。「友達との触れ合いを通して、閉じこもりの防止にもつながれば」とサポートセンターの荒礼子さんは笑顔を見せました。

4月28日には、ボランティア活動をきっかけに始まった「第4回マイタウンマーケット」が開催されました。これは仮設住宅に住む子どもたちが仮設住宅地を“町”に見立て、1日限定のカフェやスーパー、アクセサリ屋などを開くもので、ボランティアセンターもそのお手伝いをしてきました。今では子どもたちが運営の主体となって、仮設住宅地の元気に一役買っています。

社会福祉協議会と地域の人々が力を合わせ、復興へと歩んでいる新地町。今後もその活動に注目が集まります。



▲地域住民も訪れ賑わうマイタウンマーケット



▲サポートセンターまごころの荒礼子さん(左)ら



▲小物入れ作りに苦戦しながらも「夢中になりました」と参加者

### ●おわびと訂正

前号・ゆめだより4月号[絆つないで]の記事(本文11行目)で、臨時災害FMの周波数を[76.7MHz]と紹介しましたが、これは誤りで、正しくは[76.9MHz]でした。おわびして訂正いたします。

自宅も流された白土さんは、被災直後、東京へ避難しました。「もう再開できないだろう」と思いつながりがあった三島町や道の駅裏磐梯の関係者などから、百人以上の人が、「道の駅」周辺の片付けに来てくれたのです。一緒に汗を流すうちに、白土さんは「もう一度がんばってみよう」と気持ち切り替わっていきました。水も電気も不通のなか、土日だけの仮営業を始めたのは、その後すぐ、4月17日のことです。

## 前向きに取り組んで 「恩返し」につなげたい

商品の不足は、会津地方や石川地方の「道の駅」や、地元を生産者からの協力を得て乗り切りました。7月には平日も営業を開始。新店舗建設のめどが付いたことで今年1月からは大型テントに店舗を移しました。四倉漁港の水揚げがないので名物のホッキ貝は販売できませんが、店頭にはできるだけ地元の魅力を伝える商品をそろえました。広い売場には、会津地方の商品

や全国各地からの「応援商品」なども並べています。

「今ここで、できることを前向きにがんばる。それがお世話になった方への恩返しになるはずだから」。そう信じ、新店舗の準備に忙しい毎日を送っています。

この夏完成する新店舗の柱には、多くの人から寄せられた「応援メッセージ」の陶板を貼り付ける予定です。



(左) 道の駅に立ち寄った人が残した応援メッセージを陶板にして、新店舗の柱に貼り付ける予定。

(下) この夏完成する新店舗イメージ。1階に直売所、2階に飲食店が入居予定。





相馬市  
南相馬市

相馬野馬追

国の重要無形民俗文化財に指定されている相馬野馬追は、一千有余年以上もの歴史を誇る伝統馬事文化。7月28日(土)から30日(月)まで開催されます。  
先祖伝来の甲冑かっちゅうに身を固めた騎馬武者が、腰に太刀、背に旗指物をつけて勇壮華麗かつ豪華絢爛げんらんに戦国絵巻を繰り広げます。



相馬野馬追執行委員会

☎0244(2)30064

喜多方市

第9回太極拳フェスティバル



6月30日(土)に開催される太極拳のまち喜多方市のシンボルイベントです。  
誰でも参加できる「太極拳ゆつたり体操・太極拳・武術のミニ講習会」と「音と光を駆使した太極拳集団演武交流会」の2部構成です。元世界チャンピオンの先生方による模範演武も必見です。  
ぜひ太極拳のまち喜多方へお越しください。

太極拳フェスティバル実行委員会喜多方市高橋福祉課

☎0241(24)5242

鏡石町

第9回鏡石あやめ祭りを開催

6月24日(日)に第9回鏡石あやめ祭りを開催します。今年初めての試みとして、4万株ものあやめが咲き誇る鳥見山公園から鏡石駅までを歩く「牧場の朝」のまちあやめウォークを実施します。  
あやめ株のプレゼントやよさこい踊りに加え、出店などもあり、盛り上がること間違いなしです。



鏡石町観光協会

☎0248(6)2118

下郷町

古式ゆかしく・大内宿半夏祭り



7月2日(月)、大内宿で夏の訪れを告げる半夏祭りが開催されます。  
大内宿には、悲運の皇子・高倉宮以仁王の潜行伝説が残り、半夏祭りは高倉宮を祭る高倉神社の祭礼です。  
数百年間続くとされる古式ゆかしい渡御行列が、宿場内を練り歩く風情をお楽しみください。

下郷町観光協会

☎0241(6)1144

**福島空港** 6月ダイヤ  
Fukushima Airport

※運航日、発着時刻は予告なしに変更される場合があります。

福島→札幌(新千歳)→福島	
11:30▶12:50	09:40▶11:00
19:20▶20:40	17:30▶18:50
福島→大阪(伊丹)→福島	
09:15▶10:25	07:40▶08:45
①10:15▶11:25	①08:40▶09:45
②12:30▶13:40	②10:55▶12:00
③13:30▶14:40	③11:55▶13:00
16:40▶18:10	14:30▶15:55
19:05▶20:15	17:30▶18:35

**特典 福島空港ファンクラブ 会員募集!**  
満載  
間福島空港  
ファンクラブ事務局  
0246(35)1781  
入会費  
年会費  
無料

☎福島空港 検索

①6月26日~30日運航  
②6月1日~25日運航

6月1日より  
福島=大阪便に  
ANAが新規就航!!

ふくしまから  
はじめよう。

ふくしまから  
はじめよう。

Future From Fukushima.

一人一人が復興に向けて歩みはじめよう。  
そして、再生可能エネルギーの推進などふくしまから、新たな流れを創っていこう。  
「ふくしまから はじめよう。」は、そうした、未来への意志も込めた福島県の新しいスローガンです。



6月

柳津町 **和菓子まつり**

6月16日(土)／圓藏寺菊光堂  
 圃 柳津町地域振興課 ☎0241(42)2114

会津美里町 **あやめ祭り**

6月15日(金)～7月5日(木)  
 ／伊佐須美神社 あやめ苑  
 圃 会津津美里町観光協会 ☎0242(56)4882

郡山市 **没後20年入江泰吉写真展**

6月16日(土)～7月29日(日)／郡山市立美術館  
 圃 郡山市立美術館 ☎024(956)2200

会津若松市 **ホテル祭り2012 in きたあいづ**

6月23日(土)～24日(日)／ホテルの森公園  
 圃 北会津支所まちづくり推進課  
 ☎0242(58)1805

大玉村 **大玉村芸能祭**

6月24日(日)／大玉村農村環境改善センター  
 圃 大玉村教育委員会生涯学習課  
 ☎0243(48)3139

7月

二本松市 **東和ロードレース大会**

7月1日(日)／旧下太田小学校前スタート  
 圃 東和ロードレース大会実行委員会  
 ☎0243(46)4111

三島町 **虫送り**

7月14日(土)／三島町大石田  
 圃 三島町教育委員会 ☎0241(48)5599

石川町 **第11回 JBCF石川サイクルロードレース**

7月15日(日)／石川町・浅川町周回コース  
 圃 石川町産業振興課商工観光係  
 ☎0247(26)9113

川内村 **天山祭**

7月16日(月)／天山文庫  
 圃 川内村教育委員会教育課 ☎0240(38)3806

南会津町 **会津田島祇園祭**

7月22日(日)～24日(火)／南会津町田島  
 圃 南会津町観光物産協会 ☎0241(62)3000

伊達市 **長岡天王祭**

7月24日(火)～25日(水)／伊達市長岡  
 圃 天王祭実行委員会 ☎024(583)2020

その他の行事はホームページ

須賀川市

きゅうり天王祭

毎年7月14日、須賀川の夏の風物詩である「きゅうり天王祭」が開催されます。

市内南町に設置されたお仮屋に、須賀川の特産品であるきゅうり2本をお供えし、別のきゅうり1本を持ち帰り、それを食べると1年間病気にからないとわれています。当日は、露店が並び、各種イベントも催されます。

須賀川観光協会(須賀川市観光交流課内)

☎0248(88)9144



西会津町

にぎわう  
新緑の大山路へ

「一生に一度はどんな願いも聞きなされる」山の神様として広く知られる大山おやまづみ祇神社の例大祭が、6月1日(金)から30日(土)まで開催されます。

土曜・日曜には大々神樂の奉納のほか、野だてが行われる予定です。御本社までの樹齢450年余りの杉並木が心を癒やしてくれます。新緑の大山路へぜひお越しください。

大山まつり実行委員会

☎0241(45)3235



# 県からのお知らせ

## 案内 個人住民税の納期

個人住民税(県民税と市町村民税)の納期は、次の2つの区分に応じて決められています。

①普通徴収(給与・公的年金以外の所得)原則として6月、8月、10月、翌年1月の年4回に分けて、市町村から事前にお送りする納付書により金融機関などから納めていただきます。

②特別徴収(給与・公的年金の所得)給与からは6月から翌年5月までの年12回、公的年金からは4月から翌年2月までの年6回(一部地域では未実施)、それぞれ差し引かれて納入されます。

なお、一部の市町村では、東日本大震災に伴い、納期限が延長されています。また、個人県民税には、森林環境税(年額千円)を加算して納めていただいています。

**問** 市町村の税務担当課または県庁税務課 ☎024(521)7069

## 案内 女性のための電話相談・ふくしま

県と内閣府では、東日本大震災の影響により、女性が抱えるさまざまな悩みに応じる電話相談窓口を設け、女性相談員が対応しています。

家庭や職場、近所づきあいなどの日常生活で抱えるストレスや不安感、孤独感、配偶者などからの暴力など、一人でお悩まず、まずはお電話ください。

(県外に避難されている方もご相談になれます。) 秘密は厳守します。

相談電話 ☎0120(207)440

(フリーダイヤル・携帯電話からも通話可)

受付時間 午前10時～午後5時  
月～金曜日(祝日を除く)

**問** 県庁青少年・男女共生課

☎024(521)7188

福島県男女共同参画 

## お願い 県民健康管理調査について

県では、長期にわたり皆さんの健康を見守るため、全ての県民を対象とした「県民健康管理調査」を実施しています。

「基本調査」(問診票)は、皆さんの行動記録を基に、放射線による外部被ばく線量を推計するものです。その結果は一人一人にお知らせし、将来にわたる皆さんの健康管理の基礎的な資料となります。ぜひご回答をお願いします。

行動の記憶があいまいなところは「不明」と記入していただければ、後日、事務局から連絡します。

また詳しい記入方法を、県のホームページの動画で紹介しています。

**問** 問診票の送付・紛失・記載方法に関する問い合わせ・県立医科大学県民健康管理調査事務局

☎024(549)5130

福島県 県民健康管理調査 

## おわび

皆さんへの調査結果の通知が遅れていることをおわびいたします。

現在、推計作業を進めており、順次郵送する予定です。

## 案内 福島県観光有料道路 無料開放中

県では、磐梯吾妻スカイライン、磐梯山ゴールドライン、磐梯吾妻レークラインの3つの観光有料道路を、全車種無料で開放しています。

磐梯吾妻スカイラインでは、浄土平駐車場も無料で開放しています。

高原ならではのさわやかな空気と広大なパノラマをお楽しみください。

**問** 県庁観光交流課

☎024(521)7398

県道路公社

☎024(521)5530

福島県道路公社 

## お願い 自転車の安全利用のお願い

自転車の危険な運転が社会問題となっています。自転車も乗れば「車のなかま」です。

次の点に注意してルールとマナーを守り、安全な利用に心がけてください。

●原則として、車道の左側に寄って通行しましょう。

●赤信号や一時停止場所では確実に止まって、安全確認をしましょう。

●被害軽減のためヘルメットを着用しましょう。

**問** 県警察本部交通企画課

☎024(522)2151

## 映像で学ぶ子育てのヒント

子育てについて、映像で学ぶことのできるホームページを開設しています。楽しい講座、役に立つ情報が盛りだくさんです。育児の合間にぜひアクセスしてください。

### 福島昭和の子育て

現代にも通じる親子の絆

### おばあちゃんの子育ての知恵

昔話の中にも含まれている子育ての知恵

### 子どもを守る

放射能や災害、またその不安から子どもを守るためには

### 最新!子育て学

脳科学や育児学の第一人者の講話

### 親子で楽しむ遊び入門

折り紙講座やおもちゃづくり



### 最新!子育て学

#### 養老流 子育て学

東京大学名誉教授・医学博士・ムシテックワールド館長 養老孟司さん



#### 尾木ママの「叱らない!子育て学」

教育評論家 尾木直樹さん



### 子どもを守る


#### 放射能から守る・食から守る

福島県放射能健康リスク管理アドバイザー 高村昇さん



問 県庁生涯学習課

★ ほっとHUG <http://www.hothug.jp/>

ほっとHUG 



# 施設インフォメーション

## 福島県立美術館

福島市森合字西養山 1 ☎ 024(531)5511

福島県立美術館

検索

### ベン・シャーン クロスメディア・アーティスト

— 写真、絵画、グラフィック・アート —

社会に翻弄<sup>ほんろう</sup>されながらも尊厳をもって生きる人々の姿を描いたアメリカ人画家の画業を多面的に振り返ります。

●開催期間：6月3日(日)～7月16日(祝) ●休館日：毎週月曜日(ただし7月16日は開館) ●観覧料：一般・大学生600(480)円、高校生以下無料 ※( )内は20名以上の団体料金



《オハイオ州、アーバナ、救済所》1938年8月:写真  
ハーバード大学附属フォッグ美術館蔵



《ラッキードラゴン》と《なぜ?》  
神奈川県立近代美術館での展示風景

## 環境水族館

### アクアマリンふくしま

いわき市小名浜字辰巳町 50

☎ 0246(73)2525

### サマーイベント

楽しいイベントが盛りだくさんです。この期間中は、開館時間を夜7時までで延長します。時間いっぱいまでゆつくり水族館をお楽しみください。

●開催期間：7月14日(土)～7月16日(祝)  
●入館料：一般・大学生1,600円、高校生・小中学生800円、未就学児無料  
●年中無休



蛇の目ビーチ

アクアマリンふくしま

検索

## 福島県立博物館

会津若松市城東町 1-25 ☎ 0242(28)6000

福島県立博物館

検索

### 夏の企画展「恐竜時代のふくしま」

福島県の太平洋岸にある地層から、恐竜をはじめとする脊椎動物・アンモナイト・昆虫・植物化石などの発見が相次いでいます。これらの化石や化石を産する地層をもとに恐竜時代のふくしまの生き物たちや当時の環境を復元します。

●開催期間：7月14日(土)～9月17日(祝) ●観覧料：一般・大学生500(400)円、高校生300(240)円、小・中学生200(160)円 ※( )は20名以上の団体料金 ●休館日：毎週月曜日 ただし7月16日(祝)、8月13日(月)、9月17日(祝)は開館、7月17日(火)は休館



直径35センチに達するアンモナイト  
南相馬市原町区産 八巻安夫氏蔵

## 福島県文化財センター白河館 まほろん

白河市白坂一里段 86 ☎ 0248(21)0700

まほろん

検索

### 収蔵資料展

しんべんむつのかくにふ ど きまきのじゅう しねはのこおり  
【新編陸奥国風土記巻之十 標葉郡】

まほろんに収蔵されている考古資料を地域ごとに紹介するシリーズの最終回。現在の楡葉町・富岡町・大熊町・双葉町・浪江町を対象に、旧石器時代から江戸時代まで各時代の代表的な遺跡の調査成果を紹介します。

●開催期間：6月23日(土)～8月26日(日) ●観覧料：無料  
●開催期間中の休館日：6月25日(月)、7月2日(月)・9日(月)・17日(火)



富岡町前山A遺跡出土の  
縄文土器

## コラッセふくしま

福島市三河南町 ☎ 024(525)4098

コラッセふくしま

検索

6月6日(水)～7日(木)	第9回 エコクラフト講習会
6月8日(金)～10日(日)	第45回 草月花季展示会
6月24日(日)～28日(木)	草月流福島県支部 震災復興いけばな展 花のこころを信じて
7月23日(月)～29日(日)	第9回 ふるさと日本画展

## ビッグパレットふくしま

郡山市南二丁目 ☎ 024(947)8010

6月1日(金)再オープン

## 福島県文化センター

福島市春日町 ☎ 024(534)9191

休館中 (9月29日(土)再オープン予定)



## 広報ステーション

広報誌バックナンバーや番組の詳細などをご覧になれます▶

広報ステーション

検索

### ◎県政新聞広報

#### 県からのお知らせ

【福島民報・福島民友】  
毎月第2・第4土曜日  
の翌日

### ◎県政テレビ番組

#### うつくしま情報局

～ふくしまから はじめよう。～  
【福島テレビ (FTV)】  
毎週日曜日 9:45～10:00

#### ウィークリー県政トピックス

【福島放送 (KFB)】  
毎週日曜日 17:25～17:30

#### 県政 TV

～ふくしまから はじめよう。～  
【福島中央テレビ (FCT)】  
毎週土曜日 11:40～11:55

#### ウィークリー県政ナビ

【テレビユー福島 (TUF)】  
毎週日曜日 11:40～11:45

### ◎県政ラジオ番組

#### 知事室からこんにちは

ふくしまからはじめよう。ふるさとだより  
【ラジオ福島 (rfc)】  
毎月最終火曜 12:30～12:45

#### ふくしま EVENING BREAK

【ふくしま FM】  
毎週月～金曜 17:30～17:35

復興の願いを込めて——

8 ページで紹介した、「道の駅ひらた」で販売している

「平田村の名産品詰め合わせ」が当たる!

問題

原子力に依存しない安全・安心で持続的に発展可能な社会づくりを進めるために県が導入を推進するエネルギーは?

○○○○エネルギー

○の中に文字を入れてください。(ヒントは 4,5 ページ)

●応募方法／はがきまたはファクス、電子メールにクイズの答えと、本誌の中で興味を持った記事、ご意見・ご感想、県政に対する疑問・質問などをお書きの上、住所・氏名・年齢・職業・電話番号を記入してお送りください。正解者の中から抽選で 30 名様に、「平田村の名産品詰め合わせ」を差し上げます。

●締め切り／6 月 30 日(土)当日消印有効  
当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

広報ステーション

検索

電子メール yume@pref.fukushima.jp

ファクス 024(521)7901



30名様に  
プレゼント

▲平田村の名産品詰め合わせ (組み合わせの内容に変更がある場合があります。)

9608670

県庁  
広報課  
「ゆめクイズ」係

クイズの答え

○○○○  
エネルギー

興味を持った記事  
地元で誇りにしている宝  
本誌へのご意見・ご感想  
県政への疑問・質問など  
住所 氏名 年齢  
職業 電話番号

※ご応募いただいた皆さんの個人の情報は、商品発送に使用し、それ以外の目的には使用しません。  
いただいたご意見などは、誌面に掲載する場合があります。

★6 月号の正解は次号で発表! たくさんのご応募お待ちしております。

前回(4 月号)の正解は 「ふくしまから はじめよう。」 でした。

次回 (No.233) は 8 月 1 日号となります。